

基本理念及び目指す人間像について

〔基本理念〕

「ふるさと姫路の未来をひらく人づくり」

〔サブタイトル〕

案1 ～自立し、認め合い、新たな価値を創造する人材の育成を目指して～

基本理念の実現に向けて、本市教育を推進する上でのコンセプトとして、「自立」「認め合い」及び「新たな価値の創造」の三つの言葉を設定する。

社会（地域・国・世界）の中で「自立」した人間として主体的に判断し、多様な人々との関係性の中で、互いを「認め合い」ながら協働することを通じて、予測不能な社会に「新たな価値を創造」できる、未来のふるさと姫路の形成者たる人材を育成することを目指す。

案2 ～自立し、つながり、認め合う教育を目指して～

基本理念の実現に向けて、本市教育を推進する上でのコンセプトとして、「自立」「つながり」及び「認め合い」の三つの言葉を設定する。

「自立」した人間として主体的に判断できる個人の育成、生涯にわたる育ちと学びの連続性や他者との関係性などの「つながり」を大切にした教育環境の充実、そして、多様な人々が互いを「認め合い」ながら協働する社会の実現に向けた本市教育の振興を目指す。

〔目指す人間像（案）〕

- ・ 知・徳・体の調和がとれ、夢や志を持ち、自ら学び続ける自立した人間
- ・ ふるさとを愛し、社会の持続的な発展のために連携し、協働できる人間
- ・ 互いの伝統や文化を尊重し、多様な人々と共生する人間

超スマート社会(Society5.0)の実現など、社会構造の急速な変革が見込まれる中、その変化を前向きに受け止めながら、知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育むことが重要である。夢や志を持って可能性に挑戦するために、生涯にわたって主体的に学び続ける自立した人間の育成を目指す。

自分が生まれ、育ち、住んでいる地域をふるさととして大切に思い、愛着や誇りを持つことで地域の将来を考える。そして、技術革新やグローバル化への対応による社会（地域・国・世界）の持続的な発展のために、学校・家庭・地域で連携し、協働できる人間の育成を目指す。

我が国の伝統や文化を深く理解した上で、世界の多様な文化の中で自他の違いを認め、尊重することが大切である。そして、人間ならではの感性や創造性を発揮しながら、年齢、性別、国籍、経済事情、障害の有無などにより、異なる文化や価値観を持つ多様な人々と共に生きる人間の育成を目指す。